

Urban Data Challenge 2016



アーバンデータチャレンジ2016 ～データの力を、まちの力に～

瀬戸 寿一

東京大学空間情報科学研究センター
アーバンデータチャレンジ2016事務局

CSiS

アーバンデータチャレンジは4年目を迎えます



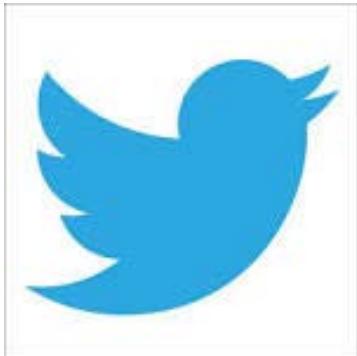
データの力を、まちの力に

<http://urbandata-challenge.jp/>

2013年から、
「地域課題の解決」の**通年型**
イベント+コンテスト
今年で4年目！！



UDC2016 !



- ハッシュタグ : #udc2016
- [https://www.facebook.com/
UDCT2013/](https://www.facebook.com/UDCT2013/)



多様な主体のモチベーション！？

賞金総額 200万円!

アーバンデータチャレンジ2015

<http://urbandata-challenge.jp/>

作品概要：平成27年12月25日（金）まで

作品締切：平成28年1月29日（金）まで

	アプリケーション	データ・可視化	アイデア	ソリューション
金賞	50万円	10万円	10万円	10万円× 2～3作品程度
銀賞	30万円	5万円	5万円	
銅賞	10万円	---	---	
自治体 特別賞	オープンガバメント推進協議会賞、自治体特別賞（水戸市長特別賞、日野市賞、静岡市賞、橋本市長特別賞）、学生奨励賞			



アーバンデータチャレンジ2016

コンテストを実施します！！！

<http://urbandata-challenge.jp/>

作品概要：平成28年12月23日（金）まで

作品締切：平成29年1月27日（金）まで

- 地域課題の解決に資する作品を募集します。
- 応募要領詳細は、**10月4日・5日**開催予定の中間報告シンポジウムにて公開します！
- 最終審査会は、**2017年2月24・25日**開催予定です！
- まずは、各地域拠点等でのイベントにご参画ください！
- イベント情報は、HPやFacebookページで随時ご提供します。

Urban Data Challenge 2016



「アーバンデータチャレンジ（UDC）」は、地域課題の解決を目的に、地方自治体を中心とする公共データを活用した年間のイベント開催を伴う一般参加型コンテストです。2016年度は30の地域拠点（都道府県ブロック・予定）を活動の核としながら、地理空間情報の流通や利活用を日本各地でさらに促進する予定です。

» アーバンデータチャレンジとは?

» UDC2016キックオフ

» 全体のイベントレポート

» 2014作品資料

» 拠点各地からのレポート

» 2015作品資料

» 今後のイベント案内

» 2015募集要領

アーバンデータチャレンジ2016 地域拠点

各地域をクリックすると活動状況を見ることができます



Source: <http://urbandata-challenge.jp/>

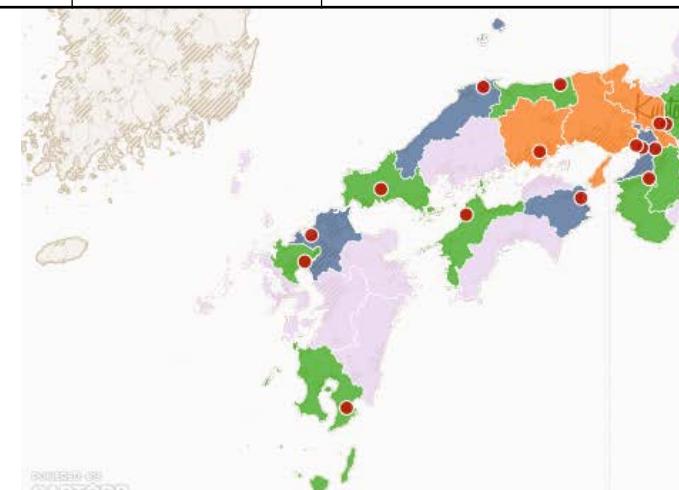
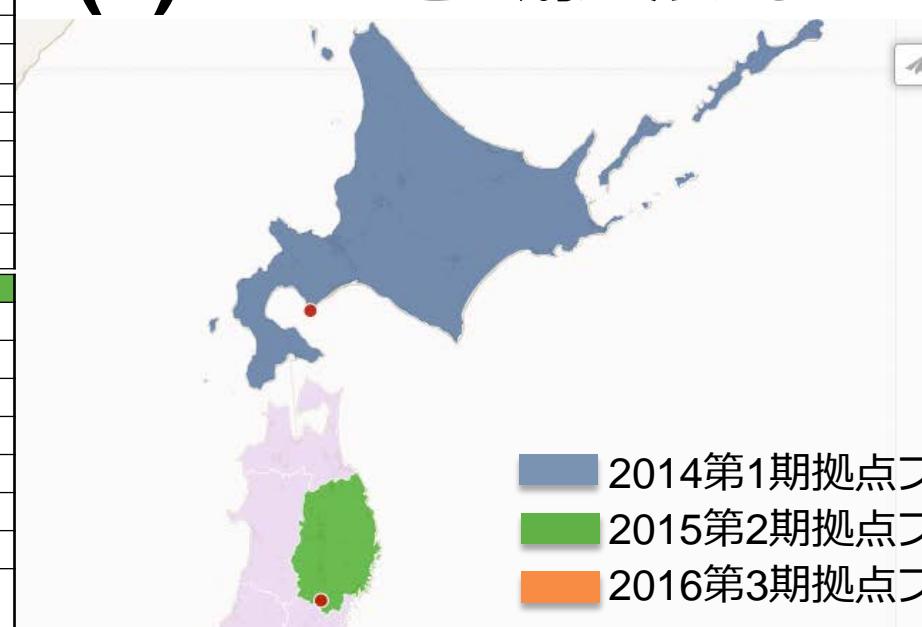
■第1期拠点 地域拠点コーディネーター一覧

北海道ブロック	丸田 之人／川口 陽海	室蘭市
茨城ブロック	北條 佳孝	水戸市
東京ブロック	中平 健二朗／神崎 晓	日野市
神奈川ブロック	関口 昌幸／石塚 清香	横浜市／横浜市金沢区
石川ブロック	福島 健一郎	(一社)コード・フォー・カナザワ
静岡ブロック	浦田 芳孝	静岡県
大阪ブロック	古崎 晃司	大阪大学
島根ブロック	野田 哲夫	島根大学
徳島ブロック	新久保 渡／坂東 勇気	徳島県／Code for Tokushima
福岡ブロック	坂本 好夫	(公財)九州先端科学技術研究所

■第2期拠点 地域拠点コーディネーター一覧

岩手ブロック	須藤 直俊／後藤 治	岩手県南技術研究センター／一関市
福島ブロック	藤井 淳	会津若松市
福島ブロック	猪股 秀行	(公財)郡山地域テクノポリス推進機構
滋賀ブロック	柳井 美紀	大津市
奈良ブロック	佐藤 拓也	Code for IKOMA
和歌山ブロック	三嶋 信史	橋本市
鳥取ブロック	田中 健一	鳥取県
	東野 正幸	Code for Tottori/鳥取大学
鳥取ブロック	板野 央輝 井上 仁・天野 圭子	鳥取県 鳥取大学
山口ブロック	米富 竜太	山口市
愛媛ブロック	兼久 信次郎	Code for DOGO
佐賀ブロック	牛島 清豪	Code for Saga
鹿児島ブロック	中窪 悟	肝付町

(1)2016地域拠点は30へ！



■第3期拠点 地域拠点コーディネーター一覧

埼玉ブロック	後藤 真太郎	埼玉県GIS普及推進研究会
千葉ブロック	松島 隆一	オープン！ちば
山梨ブロック	角田 一満	笛吹市役所産業観光部観光商工課
富山ブロック	富成 敬之 松本 八治 矢後 智子	Code for Toyama City Code for Nanto Code for Takaoka
長野ブロック	諸田 和幸 平賀 研也	WikipediaTOWN in INA Valley 長野県立 長野図書館
岐阜ブロック	國枝 裕介 稻垣 吉川 浩司	Code for Gifu 岐阜県 (公財)ソフトピアジャパン
	河口 信夫 遠藤守・浦田真由	名古屋大学 名古屋大学
愛知ブロック	白松 俊 大村 康 小野 健太郎 木村博司・佐藤亮介	名古屋工業大学 豊橋技術科学大学 豊橋市 Code for Mikawa
京都ブロック	太田垣 恒子 藏野 文子	Code for Kyoto Code for Kyoto
兵庫ブロック	多田 真遵	Code for Amagasaki
岡山ブロック	大島 正美	一般社団法人 データクレイドル



(2) データポータル(DKAN)による 地方自治体のオープンデータ提供

Urban Data Challenge Data Portal <http://udct-data.aigid.jp/> 検索

データセット グループ アプリとアイデア 統計 このサイトについて ログイン 登録

アーバンデータチャレンジ2015は、9/29より応募開始いたしました！

Urban Data Challenge 2015



10/10にシステム移行を行ったため、既存ユーザーは「パスワードの再発行」が必要です。

- アーバンデータチャレンジ2015は、9/29より応募開始いたしました！【Web】
[2015年度の募集要項・地域課題【PDF】](#) [【Excel】](#)
エントリーフォームは[【こちら】](#)
- アーバンデータチャレンジ2014審査結果を掲載しました！
(14.3.2) [【PDF】](#)
- 2014年度の指定課題（2014.12.2更新版）[【XLS】](#)
- オープンデータリストの公開（2014.10.21）[【Webページ】](#)
- 2014年度もアーバンデータチャレンジを開催します！概要是リンク先をご覧ください
[【HP】](#) [【Facebook】](#)

人口 行政 防災 教育 インフラ

Powered by dkran 8 検索

(3)強力な専門機関との連携 「データ提供・支援拠点」



国立国会図書館
デジタルコレクション等の
データを使ったWS開催

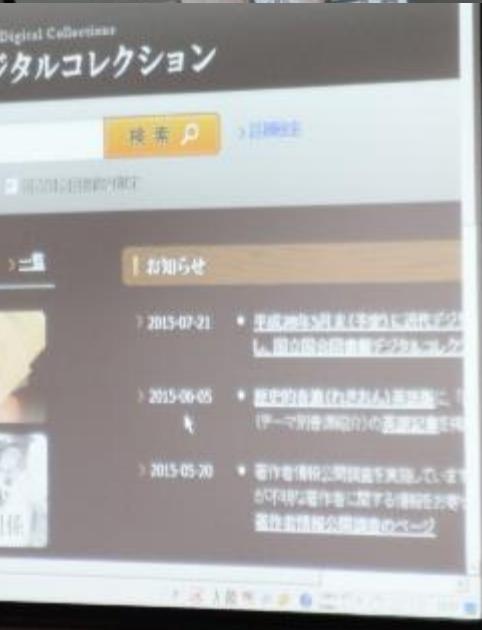
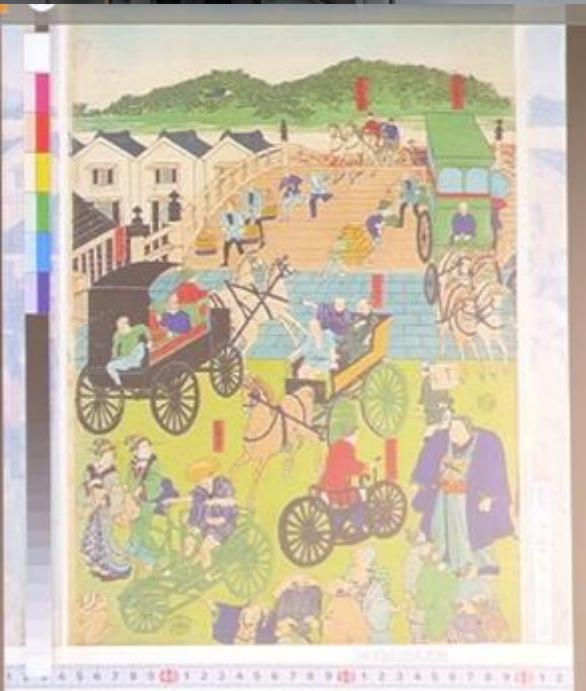
経路検索条件など
データ提供、
データを使ったWS開催

NAVITIME



地域拠点としての参画、
コンテストにおける特別賞の
設置

2015年8月8日「NDL利活用ワークショップ」



あくまで地域課題オリエンテッドでの作品募集 2015年度は、地域拠点自由課題を含め **65の課題から作品募集**

UDC2015地域課題リスト（2015年9月29日更新版）

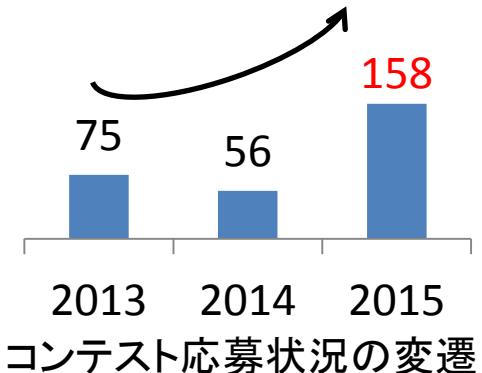
No.	具体的な課題の例	必要となりそうな主なデータ例・参考URL
人口問題：少子高齢化や人口過密といった人口問題を身近に考えられる仕組みの実現		
1	少子高齢化に対して、公共建物、社会资本の配置などの計画を行政と住民が共に考えていくける仕組みを作りたい	・公共施設・都市計画図 ・人口分布
2	近隣市町村への若い人の流出を食い止めたい	・人口と世帯数の推移
3	人口構成の地域的バランスの差を縮小化するために人口の流動を促したい	・人口分布
4	街の変化の様子を正しく把握したい	・人口動態
5	人口の構造の変化や減少などを我がこととして考えにくく、自分の将来の暮らしぶりを想像する際に想起できないため、人口問題に対して個人レベルでのアクションを取ることが困難である状況を解消したい	・コーホート別人口動態 ・各地の行政の財政状況
まちづくり：地域活性化に向けたデータの活用		
6	街と地域企業のコラボレーションによる地域活性を実現したい	・地域の企業情報
7	地域活性に繋がる空き地の活用をしたい	・空き地位置
8	産業基盤の空洞化に対応したい	・地域企業情報
9	団地の老朽化に対応したい	・公共住宅位置 ・公共住宅居住者
10	買い物難民を解消したい	・商業施設位置 ・人口分布
11	中心市街地の衰退、空洞化に対応したい	・地域の店舗情報 ・人口分布

UDC2015ファイナル・ステージ

地域の課題解決力に貢献する作品を一挙大公開

～最終審査会＆活動継続に向けてのトークバトル！～

- 応募作品数: **158作品** (事前エントリー194作品)
- 実施日: 2016年2月26日(金)27日(土) ※2日間にわたり開催

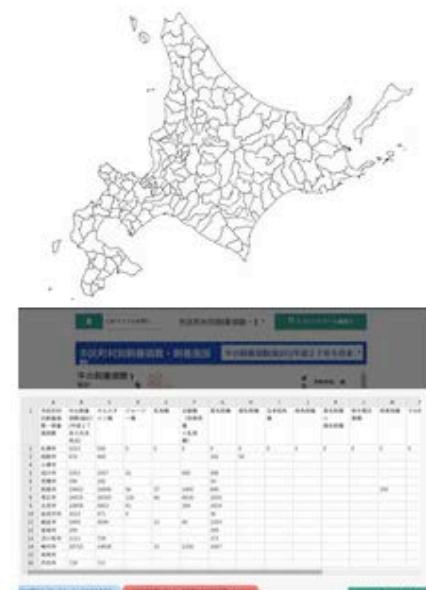


- 2日目開催レポート: <http://urbandata-challenge.jp/2015/2015-final2>
- 一次審査結果: <http://urbandata-challenge.jp/2015/1st-results>
- 最終審査結果: <http://urbandata-challenge.jp/2015/prize>



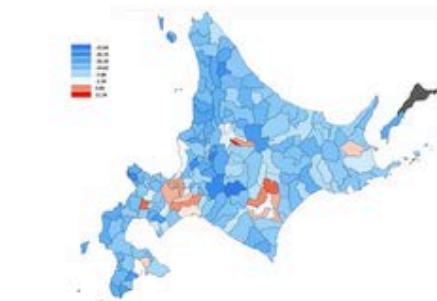
2015金賞 Seseki

http://labo.lspan.net/seseki_udc2015/



統計データ閲覧ツールを使う

様々な統計データを地図に重ねて可視化・閲覧できる
ツールを用いて北海道の各地域の特徴を分析してみま
しょう。



実際の統計データで北海道を知る

北海道庁等が公表している統計データを用いた可視化
結果を通して北海道を知りましょう。

[ツールを使った分析結果を見る](#)

まちの未来を切り拓く作品を 育てるのは皆さんです！



今年も、楽しく、突き進みましょう！

- HP : <http://urbandata-challenge.jp>
- FB : <https://www.facebook.com/UDCT2013/>
- 事務局メールアドレス : udc-office(at) aigid.jp
※ (at) は @ に置き換えて下さい。